



都の西北

2016年(平成28年)4月1日

早稲田大学校友会 昭島稲門会会報 第2号



第31回総会が開催されました

平成27年11月21日午後2時から昭島市民交流センターで創立30周年を記念する総会が開催されました。会員の出席21人、現役学生3人、それに北川穰一昭島市長、大学より井上文人地域担当部長、青梅線沿線の近隣稲門会から11人の来賓をお迎えし和やかに賑やかに――。

第一部では会長挨拶、議案の審議、来賓の挨拶など。就任してちょうど1年になる梅田会長からは、昭島稲門会のこれまでの歴史を振り返りながら、会報の発行を初め会員増強の活動を意欲的に進めている経過が

報告されました。

第二部では昭島市教育委員会の三村章氏が、パワーポイントを活用しながら「昭島の秘めたる歴史」について講演。

第三部の懇親会では、立川三田会の会員でもある北川市長が、稲門会会員の地域での貢献に感謝し今後への期待の言葉も寄せられました。来賓の皆さんを交え歓談が進み、飲むほどに語るほどに会場は盛り上がり、最後に山中幹事長の指揮で校歌「都の西北」を元気に斉唱し盛会のうちにお開きとなりました。

この人に聞く

奮闘中の梅田会長にインタビュー

☆ 会長に就任されて1年経過しました。感想をお願いします。



正直言って会長になるつもりはなかったし、その器でもないと思っておりました。しかしながら、諸般の事情によりお引き受け致しました。副会長の時は会の行事

に対して他の予定を優先することもありましたが、現在は余程の事が無い限りは会の行事には全て参加するよう心がけています。義務的な部分もありましたが、1年間役員の方々と前向きに取り組んで来た結果、会に対する愛着や会員の皆様との絆も強くなって来たような気が致します。

◇ いろいろご苦労されたこともあったでしょう。何が一番大変でしたか？

役員の方々に非常に熱心に協力して頂き、個人的に苦労したことは無いのですが、新規会員の確保及び女性や若い層が入会するような魅力ある稲門会活動とは何なのかは悩みました。だが、それより以前に昭島稲門会の存在と活動内容をPRする手段が必要であることに気づき、会報の新規発行を実施しました。それと並行して、若年層との接触出来るチャンスを企画したり、苦しい会計事情の中での昭島在住全校友への勧誘活動をも実施しました。

◇ そしてどんな進展がみられた？

まず役員会の充実を図りました。従来の役員メンバーに加えて、担当を持っている幹事もメンバーに加えた拡大役員会を毎月実施して、新規に会報「都の西北」の発行、昭島在住早大生との交流会、在住校友全員への新規作成会報の送付・入会勧誘等の活動を実施することができました。在住校友への勧誘結果は予想・期待に反して少数の新規入会に留まりましたが、素晴らしい才能・能力のある方々に入会頂き感謝しております。これからも地道に新規勧誘活動は続けたいと思っておりますし、その大きな手段の一つでもあるホームページも、新規入会会員の積極的な参加で開設できたので、ページに載せられるような諸活動も充実していきたいと思っております。

◇ 会員、校友に呼びかけたいこと、期待されることは何ですか？

縁あって、早稲田大学と昭島市を共通のキーワードとする仲間達が近くに住んでおります。若い校友の発想やバイタリティも魅力ですが、昭島稲門会が多様な人生経験を経たシルバー校友のサロン(集まりの場)のような存在になれば幸いですし、肩肘張らずに気楽に参加して頂けたらと思っております。

◇ ところで、梅田会長は多趣味と聞いています。そのいくつかを披露していただけませんか。

へたな鉄砲も数撃てば当る程度の趣味ですがいくつかご紹介します。なお、ゴルフは全く筋が悪く、数十年やりましたが上手くならず数年前にギブアップしました。

合気道

始めて26年経ちました。愛好者は日本で百万人、海外で60万人と言われております。力技が無いので、男女が一緒にかつ年を取ってもできる武道なので欧米でも人気があります。

相手を思いやる気持ちが無いと技が決まらないので、開祖は「合気とは愛なり」と説いています。写真は調布市の演武会にて賛助演武を行った時のスナップです。



コーラス

大学にて理工学部の混声合唱団「コール・ポリフォニー」に所属していました。

現在は市内の混声合唱団「コーロ・ブランカ」と男性合唱団「多摩バンカラーズ」に所属しています。写真は昭島市市制60周年記念第九演奏会のものです。



入会しました

シンガポール生活を楽しむ

鈴木彩香(平19・法)

昭島稲門会の皆様、初めまして。鈴木彩香と申します。在学中は法学部に在籍し、2007年3月に卒業致しました。就職後、2015年に結婚し、主人の海外赴任に伴い現在はシンガポールで生活しております。

海外での新生活は慣れないことも多くありますが、料理や家事等、楽しみながら日々を過ごしております。大学一年生の頃の語学クラスの友人が同様にシンガポールに駐在しており、家族ぐるみで会うなど、嬉しいひと時もありました。シンガポール人女性で、留学のため以前早稲田に通っていた方と出会うなど、少しずつではございますが、早稲田を軸にして、素敵な縁が広がりがつあります。シンガポールにも稲門会がありまして、先日入会を済ませました。今後の活動が楽しみです。帰国時には、ぜひ昭島稲門会の活動に参加させて頂けたら嬉しいです。



シンガポール・マーライオン公園よりマリーナベイサンズを望む

入会しました

これまでの経歴を稲門会活動に

富樫純一(昭63・社)

昭島稲門会30周年を機に入会しました富樫純一と申します。ご存じのように早稲田にはマスコミ志望者が多く、学生時代の私もそんな一人でした。新聞やテレビ業界に進む友人が多い中、私は米国IT系出版社の日本法人に就職。IT専門紙の編集記者、パソコン誌の編集長などを歴任しました。編集長時代には、NHKの「何でも解決パソコンマガジン」にレギュラー出演する経験もしています。1999年に独立し、以来ITジャーナリストとして執筆活動に携わっています。

昭島市に転居してきたのは1989年。すでに四半世紀が過ぎ、4人の息子たちも全員独立しました。肩の荷が下りたところでこれまでの経歴を活かし、会報誌「都の西北」の編集や昭島稲門会ホームページの作成を中心とした稲門会活動を、微力ながらお手伝いさせて頂いていただこうと思っております。



稲川淳二さん(中央)、藤森夕子さん(右)とともにテレビ出演

花栽培

花や野菜栽培するのも好きです。特にひまわりが大好きで、毎年、庭中をひまわりだらけにします。昨年はそれに飽き足らず、斜向かいの玉川小学校のプール外側の帯状の校有地約40mにひまわりを咲かせてしまいました。皆さんの評価も良く、「ひまわり街道」と言う人までいました。今年もやってやろうと思っています。



料理

市内の料理好きの団体「男性シルバー友の会」に所属して2年になります。各種具材や調味料の値段も大



体頭に入っています。輪番で500円/人の予算でのレシピの作成とその具材の買い出しノルマがあります。写真は私の最も得意とするオリジナルたこ焼きとその他自作の料理です。



インタビュー雑感: 会の活性化と会員増加に奮闘する姿に、できる協力はしなければ、との思いに駆られました。趣味というか特技の多さ！昭島稲門会も多様な活動の未来が開かれてくるような予感がしてきました。(清水)

サークルと活動の紹介

昭島稲門会のサークルと活動の一端をご紹介します。

第1回「現役・OB交流会」



平成27年8月29日午後3時より、昭島市民交流センターで暑気払いをかねて、第1回「現役学生・OB交流会」が開催されました。会員の出席18名、現役学生10名が出席し、終始和やかに楽しいひと時を過ごすことができました。

梅田会長の挨拶に始まり、会員、学生が交互に自己紹介、近況を語り交流を深め、杯を重ねるにつれ大いに盛り上がりました。最後は全員で大きく拳をふり校歌を斉唱し、盛会のうちに閉会をすることができました。

今後この会を定例化し、校友会活動を市内の若い学生達や校友に周知していきたいと思えます。(山中記)

秋のゴルフコンペ開催



2015年10月11日(日)、大月の花咲CCで開催。9名が参加(写真)、3組でのコンペになりました。午前中はあいにくの小雨でしたが、午後から天気も回復し秋空の下での熱戦になりました。競技は新ペリアで争われ、佐藤清さんがベストグロスの90、ネット72で見事な優勝でした。風呂でさっぱりした後、昭島に戻り、翠鳳楼で成績発表、ニアピン表彰と懇親会で楽しみました。

当コンペの由来については、岩崎恵充前会長が会報1号で語られていますが2005年にスタート、メンバーの高齢化等で11年から3年の休会を経て13年から新会員が加わり再スタート、年2回春秋に開催されています。(渡部記)

秋のハイキング～神代植物公園へ～



▲バラと美男子(?)

好天に恵まれた秋の一日(10月24日)急用ができた2名を除いた6名の会員が11時に三鷹駅に定刻通りに集合、バスで都立神代植物公園に向かいました。正門から時計回りに山野草園、萩園、楓園と歩き進むが時期的に端境期で紅葉も時期尚早、冬桜、サザンカ、椿がちらほらと咲き始めている程度。行程最終の薔薇園までは樹木に囲まれた比較的フラットな園内を歓談しながら歩きました。薔薇園は海外、国産の薔薇が真っ盛り、ミツバチもせわしく蜜の収穫に励んでいました。

深大寺にお参りをしてから水生植物園に足を伸ばし、ここも花菖蒲などの茎などを眺めながら武蔵野の面影を残す水辺を一周しました。

おなか为空いて来た2時頃、深大寺周辺に30軒ほどある蕎麦屋のなかの八起(やおき)に入店、ビールで乾いた喉をうるおし、江戸時代からの名物深大寺蕎麦に舌鼓を打ちました。(菅野記)

もっとサークル、もっと楽しく

新たなサークルを立ち上げたい方は会長または幹事長にご連絡ください。会の活動を多彩にしていきたいでしょう。

早慶ラグビー観戦

▼みんなで五郎丸ポーズ!



W杯での五郎丸の活躍でラグビーに世間の注目が集まる中、タイミングよく伝統の早慶戦が行われる(11月23日)ということで、昭島稲門会有志5名(写真)は意気揚々と秩父宮ラグビー場へ集まりました。当日はあいにくの小雨でしたが、梅田会長差し入れの焼酎で体を温め準備万端。肝心の試合内容はルールをあまり知らなくても十分楽しめるものでした。両陣営とも全く譲らず逆点に次ぐ逆点の大接戦。最後はなんと残り30秒で早稲田のゴールが決まり、鳥肌ものの逆転勝利! おかげで気持ちよくほろ酔い気分の家路につくことができました。(佐藤記)

府中の森コンサート

▼鎌田総長を囲んでパチリ!



2015年11月15日(日)、秋の祭典「第13回東京三多摩支部大会」が府中の森芸術劇場にて開催され、昭島稲門会からも有志4名(写真)が参加してきました。今年は校友音楽家山口綾規様(政経学部卒業後東京芸術大学大学院でオルガンを専攻)による大迫力のパイプオルガンコンサートが目玉。バッハの名曲から「早稲田の栄光」「紺碧の空」「都の西北」等お馴染みの歌まで。演奏をバックに会場からも歌、歌、歌。その後の懇親会も含め大いに盛り上がり、充分エンジョイしました。(小池記)

飲んで歌って・・・

▼次の曲は何?



【早稲田カラオケ倶楽部】

昭島稲門会の中では最も歴史ある(?)同好会です。15年ほど前、総会の二次会から派生した会で、「歌好き」「歌上手」ではありません)のメンバーが数人集まって、好きな歌を勝手に2時間ほど歌ったあと、全員で「都の西北」(校歌)を斉唱してストレスを発散する会です。



演歌あり、裕次郎あり、ポップスありの楽しい倶楽部です。大きな声を出して新曲にも挑戦するのは「認知症防止」にも効果があるといわれています。特に認知症が気になる年齢の皆さんの参加をお待ちしています。(福田記)

- ・会場/昭島駅北口駅前(郵便局上)のカラオケ「ムーン」
- ・日時/毎月最終日曜日正午から
- ・参加費/飲み放題込み1000円程度
- ・参加予約不要(参加自由)

新春顔合わせ会

▼皆さんこんなに元気です!



2016年2月7日(日)、新春顔合わせ会を東中神の翠鳳楼で開催し、17名が参加しました(写真)。食事も進んだ中盤には、それぞれの会員からの挨拶や近況報告、抱負、趣味やサークルまで多彩な話で盛り上がりました。

特に御年90歳の小穂さんを初めとして皆さんとにかくお元気です! 今後の行事予定を確認して、最後は早稲田大学校歌を歌い締めました。(佐藤記)

会員だより

中国大連の話

水上 宏(昭和40年・教育学部卒)



「大連」という地名はどのようにして生まれたので候哉—「マンダリン」(満大人)という言葉は、蓋し「満大連」ではなかろうか—満州(中国清朝)のお偉い人を指している(語義には他にも説がある—)らしいが、わたしは勝手にこう解釈している—就而は、まずその大連に滞在(赴任)していた、有点形迹可疑の話を—(写真左)。

大連の冬は極寒となります。大地は凍りつき、冷たい北風が吹く日が続く(「氷凍三尺、非一日之寒」)と、人々は素早く耐寒的服装に身代わりをします。幾重にも重ね着をして、「緊身儿内衣」をつけます。男(工人)たちは、厕所(厕所-トイレ)に入ると、まずズボンを腰まで下げて半光屁股(お尻を半出し)にして用を足します—前開きのない下着を

つけている(男女共用?であるなら、前開きを共用にすればいいのに...)か、であれば何枚もの下着をかき分けて陽物(男根)を弄り出すまで糞闘一否、奮闘(小用の話ですから...)せねばならず、一滴とも漏らし垂らすこと敵わず、となると、この体勢が一番楽なのです—但是、冷たいタイル張りのトイレでこの始末では、寒戦も害羞(身震いも恥じらい)も不能、これでは工厂(工廠-工場; 写真右)に暖房完備のトイレが必要か?と—尤もこれに似た経験は私にもある?様な...皆さんはいかがでしょう。前後を間違えて穿いてしまったこと—ありませんか?—抑々、厠の残酷話は尽きないのです。

那么、大連には今でも満州建国以来の様々な景区(景觀地域)が残っており、特に建造物は学校や医院(病院)など現在も有効利用されています。飯店(瑞詩ホテル; 写真左上)から徒歩で数分ばかりのところ、当時の日本人(満鉄関係のお偉方—日大人)が居住していた七七街があり、此処には庭付きの瀟洒な洋風の館がありました—(写真左下)。洋槐が高々と蔽いかぶさる草坪(芝生)に桌子(テーブル・机)や椅子

が置かれた、今でも羨ましいような住まいが多々あり、初夏になると、香しいアカシアが開花します。大連の春は、「時在初夏、陽和方起」します。この頃(5月~6月初)は、爽やかに風薫るとても心浮き立つ時季で、人々の服装も様変わりして街全体が柳絮飞揚(飛揚—柳の綿が風に舞う)の中春を経て、生き生きと活動的になる龙(龍)の目覚めの如く、悠久の街と変化して、将に「満・大連」の一番美しいときです。またホテル16階からの労働公園一帯の眺めは、天々匆匆の癒しとなりました。大家—旧くは「旅大」(旅順+大連)、またロシア語で「ダリーニ」(遠方)、そして「北の香港・真珠」と呼ばれ世界各地と繋がる都市—大連へ旅游(旅行)してみませんか—(写真上:誕生日を祝ってもら)



【ちょっと訪問…会員ルポ】

こねんてるひさ 小稔輝久さん 【昭和26年 第一法学部卒】



今号は、昭島稲門会員の最高齢（数え年90歳）の小稔輝久先輩を訪ねてみました。総会には勿論、親睦会などにも元気に出席され、飄々ときれいなお酒をたしなみ、稲門祭の福引き券の購入などにも多大な貢献・ご協力をしていただいている「ありがたい」先輩です。

「こねん」とは珍しいお名前ですが出身はどちらですか？



生粋の江戸っ子です。港区芝の生まれです。「小稔(こねん)」という由緒ありげな苗字については両親に詳しく訊こうと思っているうちに、私が24歳のときに父親が、翌年25歳のときに母親が亡くなってしまい、苗字のいわれについてついに聞きそびれてしまいました。

早稲田に入学された昭和21年頃の学生生活はいかがでしたか？

戦後間もなくの混乱期で、ちょうど学制が変更の時期でした。旧制の芝中学に5年通い、その後早稲田第二高等学院に3年通い、早稲田大学の第一法学部の3年に編入学しました。学生時代は当時の「流行り」で共産党に入党しましたが、現実とのギャップに気づきすぐ離党してしまいました。

卒業後のお仕事は？

生命保険の明治生命に入社しました。本社勤務だけではなく60歳の定年まで、九州・静岡など日本国中を転勤し、わが国の成長期の猛烈型なサラリーマン生活を送りました。

この昭島にはいつから来られましたか？

長年の社宅住まいに終止符をうった定年後の62歳の時、現在のつつじが丘の25号棟に引っ越して来ました。つつじが丘北小学校の西隣で、ゴルフ練習場に面した一番北側の環境のよいマンションです。すでに30年になる昭島住民です。今は妻といっしょに「悠々自適」暮らしといったところです。

趣味が「長唄」と「オペラ」とのことですが？

音楽は邦楽も洋楽も大好きです。「長唄」は母親がやっていたので子どもの頃からです。「オペラ」は大学に入ってからで、戦争中外国音楽に飢えていた反動でしょう。自分ではまったく歌えませんが聴くのは大好きです。公演にもよく出かけます。特にブッチーニとヴェルディが好きですね。

大変お元気そうですが？

お陰様でこの歳になってもすこぶる健康です。薬も全然飲んでいませんし、地元の稲門会の飲み会にも歩いて行きます。さすが今では呑む量は日本酒を1合程度になってしまいましたがね…(笑)

【取材 編集委員 福田】



<マンガの作者はワセダ漫研OB>

ホームページが開設されました

この3月から昭島稲門会のホームページが開設されました。早稲田カラーのトップページから多様なコンテンツにつながり、母校のニュースや三多摩地区の他市の稲門会のページも見ることができます。会員間、近隣稲門会との交流、情報交換の手段として積極的な活用を期待します。まずは、すぐに下記のURLにアクセスしてみましょう。

<http://akishima-tomonkai.com>

または検索ページで「昭島稲門会」でもアクセスすることができます。

岩崎前会長が賛助代議員に



このほど前会長の岩崎恵充さんが母校の賛助代議員の称号を受けました。岩崎さんは2008年に昭島稲門会の第四代会長となり2014年まで6年間、会長として当会の発展に尽力貢献されてきました。会員にとっても朗報です。岩崎さんは次のように

喜びを語っています。

「校友会規則で代議員と稲門会会長を一定期間以上務めると、賛助代議員になりますが、私は平成27年2月に名称をいただきました。昭島稲門会の役員と会員の皆様の御蔭と思っています。ありがとうございました」

稲門祭の話題から

福引でテレビが当たり、ビックリポン

稲門祭の当日、梅田会長と二人、大隈講堂前の福引抽選の会場に向かいました。会場に当選番号が張り出されました。下から見ると、我々昭島稲門会では、職域特別賞(クッキー1個)6人、職域賞(企業からの景品詰め合わせ)2人、故郷賞(地域稲門会の名産詰め合わせ)1人が当たりました。そしていよいよ稲門賞、なんと私に大型テレビが当たりまさにビックリポンでした。ちなみに息子の引越祝いにあげ大変喜ばれました。(山中記)



お知らせ・予告

4月2日(土) お花見ハイキング

あきる野市の光厳寺にある樹齢500年、幹の根回り約5mの桜の花を愛でに行きましょう。武蔵五日市駅に午後2時集合、鑑賞後は昭島市内(東中神駅前の庄屋を予定)で懇親会を開きます。(連絡先:菅野 545-4685)



5月8日(日) ゴルフコンペ

大月の花咲カントリーで開催します。新入会また久しぶりにコンペに参加される方も予定されています。新緑の空気を胸いっぱい吸って思いきりボールを飛ばしてみませんか。(連絡先:山中 544-1937)



毎月最終日曜日はカラオケの日

昭島駅前の「カラオケムーン」で正午から2時間。仲間と歌うことは最高の健康法の一つ。自分の好きな、得意な歌を存分に歌ってみましょう。



(連絡先:福田 080-5545-7892)

(それぞれの活動内容については本紙の4~5面でも紹介されています)

編集後記

スタッフが倍増しました。ITに詳しくホームページも担当している富樫純一、若き新進気鋭の佐藤雄一の2人。それにこれまでの福田、清水の両「武」の4人で紙面の充実を図っていきます。多様性と新鮮さを求めています。「売り込み記事」でも結構です。どしどしお寄せください。(清水 武)

発行：早稲田大学校友会東京三多摩支部
昭島稲門会

会長：梅田 正宏
196-0031 昭島市福島町2-17-1
☎ 541-6008

umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp

幹事長：山中 皓博
196-0024 昭島市宮沢町2-14-39
☎ 544-1933

yamanaka-akihiro@nifty.com